

安曇野市公民館報

安曇野市
中央公民館
No.32 2016.9.7
TEL71-2466

梅池自然園トレッキング

三郷公民館 ふるさと講座

三郷公民館は7月19日、ふるさと講座「梅池自然園トレッキング講座」を開催した。地質学(木船清先生)と植物学(清沢由之先生)の講師を招き、27人が参加して白馬山麓に広がる高層湿原を歩いて学んだ。

カワシンジュガイの生息地

梅池に向かう途中、木崎・仁科神社を拝観し、中綱湖から流れ出て木崎湖に生息する「カワシンジュガイ」を観察した。カワシンジュガイは水温の低い清流にすみ、砂利底に殻を斜めに立てて群生するので「タチガイ」の名もある氷河期の遺存動物である。



梅池高原に多い「オオシラビソ」の木は、小谷では古来「つがの木」と呼び、周辺一帯に広がる湿原を「池」として「梅池」の地名の語源になった。梅池自然園は平成6年、自動車の排気ガスの自然環境への影響を考慮し、全面乗り入れ禁止となり、ロープウエーの運行が開始された。

梅池自然園と天狗原

白馬乗鞍岳の火山活動で階段状の断層ができ「梅池自然園」と「天狗原」という平地が形成され、「ミズゴケ」や「ワタスゲ」などの植物が自生した。その上に新たな植生が生まれ数百万年以上の年月をかけ、現在のような湿原が生まれた。梅池自然園には、「ミズバショウ湿原」「ワタスゲ湿原」「浮島湿原」「展望湿原」の4カ所の特徴のある湿原と、数百種類に及ぶ高山植物や花々が咲き乱れている。地下水の供給を受けず、雨水によって潤される「高層湿原」ができ、生息している植物は、栄養不足に耐えることができる。観光気分の中、体と頭を鍛える講座となった。



大逆事件の冤罪から人権を学ぶ

7月6日の明科公民館講座は、大澤慶哲さん(市教育委員会文化課)を講師に「明科と大逆事件」と題して、講演を行った。63人の市民が熱心に耳を傾けた。

大逆事件は、なぜ明科から始まったのか。この事件の概略は以下のとおりである。

明治42年に明科製材所が設置され、そこに甲府出身の宮下太吉が、愛知県亀崎鉄工所から腕の良い職工としてやって来た。宮下は、社会の仕組みに差別のあることに疑問を抱いていた一人です。『平民新聞』を読み、社会主義の影響を受けていた。東京の幸徳秋水や菅野スガ、屋代出身の新村忠雄などと交流があり、連絡を取り合っていた。

富国強兵の中で、不況と貧乏による差別のある社会的な現象は天皇制にある、という考えから天皇暗殺が企てられた。幸徳は爆裂弾を使うことには反対の意見を持っていたが、その製造に宮下が関わった。試爆を会田川べりの「なつな沢」または「継子落とし」にかけてのどこかで行った。当時の警察は実地検証もせずに、宮下を東京に送った。そのために試爆の日も爆裂弾の製造工程すら分かっておらず、社会主義者は不穏分子として、事件に便乗して調べもせ

ずに摘発した。

当時の検察は26人を大逆罪で起訴し、一人の証人調べもなく24人に死刑、2人に有期懲役刑の判決が下された。そのうち、12人が無期懲役に減刑されたが、12人は死刑に処された。このことは国内では報道管制で国民には全く知らされなかったが、欧米では報道され激しい抗議行動が行われた。

これを契機に思想の統制が進み、やがて治安維持法が制定され戦争へ突き進むことになる。残された遺族は、逆賊、国賊として、激しい差別を受け、苦労された。

この事件は、明科と全く無縁な宮下が引き起こした不名誉な事件とされ、語られてこなかった。

しかし、戦後の民主化により、この事件を学ぶ機会も増え、現在は冤罪であるということが歴史上の定説となっている。

身近にあったこの事件から教訓を学んで、自由な発言のできる、人間らしく生きていく社会をつくっていくことが大切であると感じた。



地域文化祭の開催・作品募集

日ごろの活動の成果であるご自慢の作品・一芸を文化祭で発表しませんか。

出展点数は、作品内容によって異なります。

詳しくは、各地域公民館へお問い合わせください。

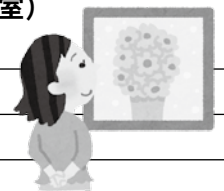
また、文化祭に出展した作品は、平成29年3月開催の「安曇野市総合芸術展」への出展候補になります。皆さんの出展をお待ちしています。

※なお、都合により時間などが変更になる場合があります。

豊科

問い合わせ先：豊科公民館 (TEL72-2158 FAX73-6401) ※日程は予定

展示日程 (展示場所)	美術・書道・一般作品 (豊科公民館、豊科郷土博物館) 展 示：11月6日(日)～13日(日) 午前9時～午後5時 ※13日(日)は午後3時まで 搬 入：11月 5日(土)午前9時～ 片付け：11月13日(日)午後3時～ 盆栽展(豊科公民館大ホール、ホワイエ) 11月3日(木・祝)～5日(土)	菊花展 (豊科交流学习センター「きぼう」回廊中庭) 展 示：10月28日(金)～11月 1日(火) 午前9時～午後5時 搬 入：10月28日(金)午前8時30分～ 片付け：11月 2日(水)午前8時30分～ 華道展 (豊科交流学习センター「きぼう」) 展 示：10月28日(金)～30日(日) 午前9時～午後5時 ※30日(日)は午後3時まで
	芸能発表会(豊科公民館大ホール) 開催日時：11月3日(木・祝) 午前8時30分～午後5時 (各種出演者募集)	短歌大会 (豊科公民館大会議室) 開催日：11月12日(土) 俳句大会 (豊科公民館大会議室) 開催日：11月20日(日)
申込み期限	9月30日(金)	
申込み方法	豊科公民館窓口で所定の用紙に記入	
募集内容	絵画・水墨画・書道・写真・彫刻・彫塑・工芸・菊花・盆栽など	



穂高

問い合わせ先：穂高公民館 (TEL82-5970 FAX82-3990)

展示日程 (展示場所)	総合美術展 (穂高総合体育館) 展 示：10月28日(金)～30日(日) 午前9時～午後5時 ※30日(日)は午後3時まで 搬 入：10月27日(木)午後1時～ 片付け：10月30日(日)午後3時～	あづみ野菊花展 (穂高神社) 展 示：10月29日(土)～11月13日(日) 午前9時～午後5時 ※13日(日)は午後4時まで 搬 入：10月26日(水) 片付け：11月14日(月)
	芸能まつり (穂高公民館講堂) カラオケ：10月28日(金) 午前10時開演 一部：10月29日(土) 午前9時30分開演 二部：10月30日(日)午前9時開演	盆栽・山野草展 (穂高神社) 展 示：10月28日(金)～30日(日) 午前9時～午後4時 ※30日(日)は午後3時まで
申込み期限	9月15日(木)	
申込み方法	穂高公民館窓口で所定の用紙に記入	
募集内容	書道・絵画・写真・短歌俳句・陶芸・彫刻・彫塑・手工芸・木彫・菊花・踊り・合唱・カラオケなど	



三郷

問い合わせ先：三郷公民館 (TEL77-2109 FAX77-6060)

展示日程 (展示場所)	文化産業展 (三郷文化公園体育館) 展 示：10月15日(土)午後1時～8時 16日(日)午前9時～午後4時 搬 入：10月15日(土)午前9時～10時 片付け：10月16日(日)午後4時～5時 菊花展 (三郷公民館ロビー) 展 示：11月1日(火)～5日(土) 午前9時～午後9時 ※5日(土)は午後3時まで 搬 入：10月31日(月)午後1時～3時 片付け：11月5日(土)午後4時～5時	ステージ発表 ふれあいコンサート (三郷中学校講堂) 開催日時：10月22日(土) 午前9時～正午 芸能発表会 (三郷公民館講堂) 開催日時：11月5日(土) 午前9時～午後3時
	申込み期限 9月12日(月)	申込み方法 三郷公民館(三郷支所)窓口で所定の用紙に記入
募集内容	盆栽・山野草・木彫石彫・生花・絵画・彫刻・彫塑・手工芸・短歌俳句・和洋裁・写真・絵画・書道・菊花など	

堀金

問い合わせ先：堀金公民館 (TEL72-5796 FAX72-4900)

展示日程 (展示場所)	作品展示 (堀金総合体育館) 展 示：10月28日(金)～30日(日) 午前9時～午後8時 ※30日(日)は午後4時まで 搬 入：10月26日(水)午後1時～5時 10月27日(木)午前9時～午後5時 片付け：10月30日(日)午後4時～5時	ステージ発表 開催日：10月29日(土) 場 所：堀金総合体育館サブアリーナ まどいの広場 午前10時～11時30分 芸能祭 午後0時15分～6時
	申込み期限 個人で出品される方 10月20日(木)	申込み方法 堀金公民館窓口で所定の用紙に記入
募集内容	菊花・盆栽・書道・写真・絵画・彫刻・彫塑・陶芸・水墨画・手芸・生花・フラワーアレンジメント・農産物・レザークラフトなど	
		堀金一周駅伝大会 開催日：10月30日(日) 発走場所：堀金支所正面駐車場 オープン参加：午前9時15分～ 発走時間：午前9時45分～

明科

問い合わせ先：明科公民館 (TEL62-4605 FAX62-5894)

展示日程 (展示場所)	作品展示 (明科公民館) 展 示：11月3日(木・祝)～6日(日) 午前9時～午後5時 ※6日(日)は午後3時まで 搬 入：11月2日(水)午前9時～ 片付け：11月6日(日)午後3時～	ステージ発表 お楽しみサロン (明科公民館講堂) 11月5日(土)午前10時～午後3時 芸能発表会 (明科公民館講堂) 11月6日(日)午前10時～午後2時
	申込み期限 9月30日(金)	申込み方法 明科公民館窓口で所定の用紙に記入
募集内容	書道・水墨画・絵画・写真・彫刻・彫塑・陶芸・和洋裁・手芸・織物・押花・押絵・生花・菊花・盆栽・短歌俳句・学習発表など	



や生地(小麦粉と米)のこねと練りを主に、子どもが生地を延ばしてあんこを包んだ。大きさをふかしてみると見事な出来栄えに大喜び。難しかったこと、うまくできたことを発表し合い楽しく試食した。

とよしな

豊科公民館は7月23日に豊科農村女性学習会の皆さんを講師に「七夕まんじゅうと、かしわ餅作り」を豊科保健センターで実施し、親子、祖母の5組12人が参加した。それぞれのいわれや作り方の説明を聞いた後実習に入り、大人が、こつと力のいる粉(小麦粉と米)のこね

親子ふれあい講座



花：エノコログサ
絵：加々美 豊



夕涼みコンサート

ほたか

7月30日に「夕涼みジャズコンサート」が穂高公民館講堂で開催され、約100人が心地よいリズムを楽しんだ。演奏者のモダン・デュクスは「ウォーターメロマン」をはじめ、おなじみのナンバーを次々と演奏し、客席は沸き立った。文化協会会長の佐伯さんは「一人でも多くの皆さんにお聴きいただきたい」と語った。来場者の福田さん夫妻は「素晴らしい。小さい子どもたちを連れてきたが自然に体が動き、楽しかった」と、話した。



みんなでスポーツin常念



堀金公民館は7月3日、堀金スポーツコミュニティと共催で「みんなでスポーツin常念」を堀金総合体育館と常念ドームで開いた。小学生以下と中学生以上を含む2〜5人でチームをつくり、34組が参加した。

ほりがね

競技はパネルにボールを投げ、打ち抜く「ストラックアウト」。棒に得点数を決めてある「わなげ9&Q」。ゴールにディスクを投げる「フライングディスク」。ソフトラレーボールをゴールに向けて打つ「ピロポロシュート」など7競技の総合得点で順位を競った。(東山路)

人権教育講演会開く

地域と学校の人権教育推進協議会は「三郷地域学社連携協働人権教育講演会」を8月5日、三郷公民館で開いた。働く人の法律が専門の松本大学の上野隆幸教授の「働く人の人権とワークライフバランス」と題した講演に、地域や

みさと



上野隆幸教授

あかしな

ふるさとたんけん隊「長峰山たんけん」25人が、明科公民館企画の「長峰山たんけん」に参加した。午前中は、デーラボッチ金玉池から入る林道(普段は通行止め)を約1キロ入った地点で化石の採集を行った。

堀金小学校2年の折井翔信君は、魚のうろこを採集。「初めてのこと、うれしい」とのこと。穂高北小学校3年の小林匠樹君は、大きな文鎮大の石を半分に分けると、割れた両面に葉脈がはつきりとした葉の跡として浮き出ていて大喜び。「すごいものを見つけた」と興奮気味。午後は、頂上で安曇平を一望しながら盆地の成り立ちを学び、昆虫採集に熱中。珍しいオオムラサキやキアゲハにも出会うことができました。



葉脈の化石

樗

ゲリラ豪雨という言葉は気象用語ではないが、最近よく耳にする。豪雨で被害に遭う地域もあれば、水不足で深刻な地

域もある。毎年、異常気象といわれ、何が普通で何が異常かも分からなくなってしまう。平穏な地域でありたい。(K・T)